

プログラム名

東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科専門研修プログラム

募集定員

14名

研修期間

4年

プログラムの特徴

1. 120年以上の臨床と研究に裏付けされた医療

当教室は明治25年に開講した日本最古の歴史ある教室である。120年以上の間培われてきた技術と知識を活かしながら、最先端の医療を追及する姿勢を常に持ち続けることが当教室の理念である。専攻医として入局した若手医師にもこの伝統を受け継いで活躍してもらえるよう指導を行う。

2. 耳鼻咽喉科の全分野に専門家を有する。

耳鼻咽喉科は、耳科、鼻科、頭頸部疾患、平衡機能、咽喉頭・嚥下、睡眠、アレルギーという専門分野があるが、当教室には、その全専門分野に、それぞれの専門家がいる。基幹施設では10の専門外来を設置しており(腫瘍、鼻・副鼻腔、中耳、難聴、アレルギー、音声、めまい、睡眠時無呼吸症)、連携施設にもそれぞれの専門を活かした指導を行える指導医を派遣している。また、各指導医は自分の専門分野以外の耳鼻咽喉科一般の診療技能に優れた医師たちである。従って、どの施設に配属となっても偏りなく広く深く最新医療を学ぶことができる。

3. 抜群の症例経験数で即戦力のある専門医を育成する

基幹施設および連携施設における外来症例、手術件数ともに、本プログラムが定める到達目標を大きく超過する経験数が可能である。本プログラムは、研修終了時に基本的疾患の治療に関しては独り立ちできていることが前提となったカリキュラムである。

4. 多彩な研修施設を有し、地域医療にも貢献できる。

当教室は基幹施設である慈恵医大附属病院(西新橋)の他に7都県に広がる関連21施設を有す。これらは東京都にとどまらず、神奈川県、埼玉県、千葉県、静岡県、栃木県、長野県と広範囲にあり、その全てが地域の中核病院として存在する病院群である。他大学の附属病院も含んでおり、大学の枠を超えて協力体制を敷いている。これらの施設に、当教室の約130名の医師が派遣されている。この多彩な現場を活かし、基幹施設だけでは経験が不足しがちな初期の一般的な炎症-疾患や救急医療、各地域特有の医療事情など、幅広く研修を行える場を提供する。大学附属病院での最先端の専門的な診療経験と、地域中核病院での即戦力となる臨床経験もって、耳鼻咽喉科学界をリードする人材を育てるのが、当教室の専門研修プログラムの目指すところである。

5. いろいろな仲間と切磋琢磨しあう環境がある

当教室には、全国から若手医師が毎年約10名入局している。出身大学も国公立・私立を問わず様々である。過去10年で入局者は89名であり、その内訳は、慈恵医大出身者33名・他大学出身者59名(例:鹿児島大、筑波大、新潟大、山梨大、信州大、浜松医大、岡山大、東北大、昭和大、東京女子医大、北里大、東邦大、獨協医大、埼玉医大、聖マリアンナ医大等)うち男性71名、女性27名であった。このように色々な経歴の仲間とともに、お互い切磋琢磨しながら耳鼻咽喉科専門医を目指して研修を行っている。